

令和8年度 東大阪市 LINE アンケート

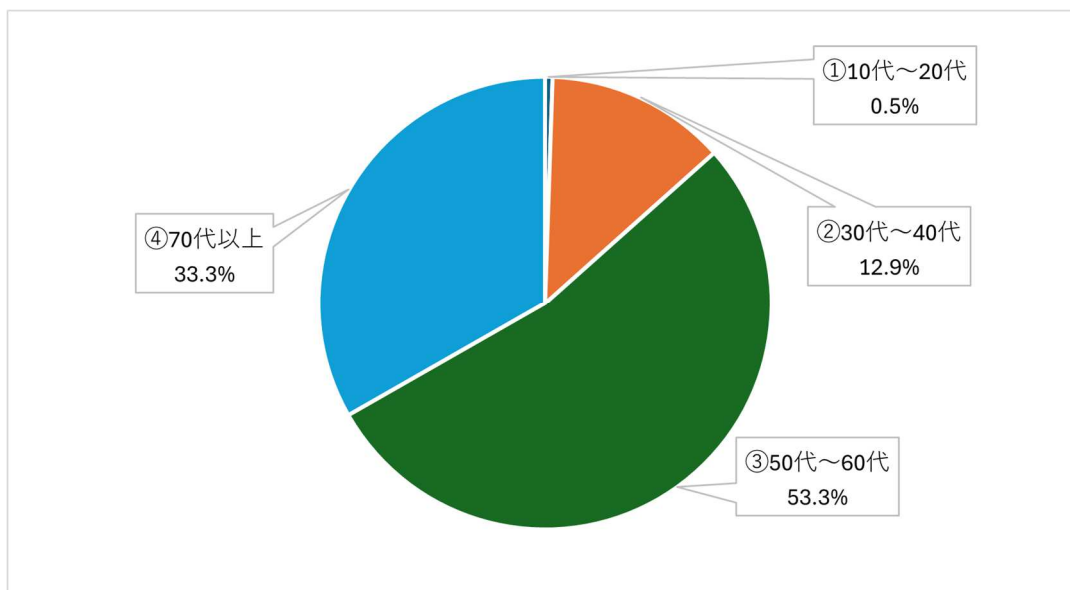
令和8年8月13日～8月20日に東大阪市 LINE 公式アカウントを活用して「資源物の排出に関するアンケート」を実施しました。

目的

古紙類を中心とした資源物について、排出状況を把握するためのアンケート。

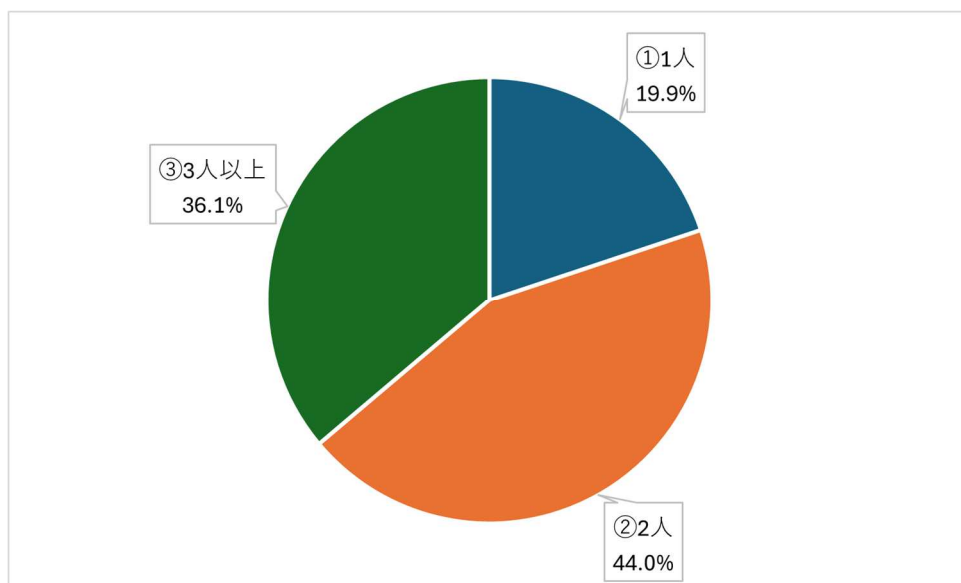
対象者	有効回答数
東大阪市 LINE 公式アカウントの友だち	2,072 人

問 1. 年齢を教えてください。



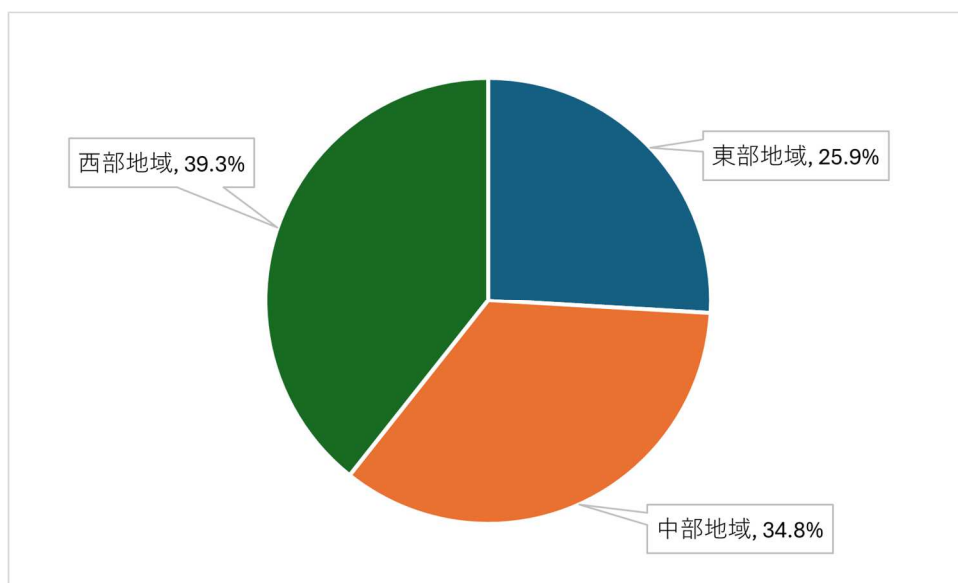
50 代以上の方に多く回答いただきました。

問 2. 何人でお住まいですか？



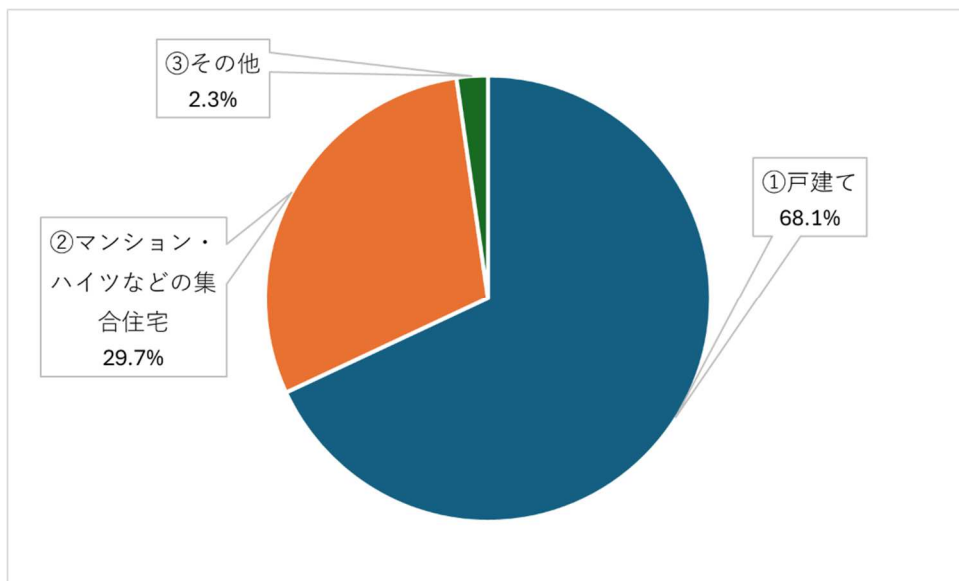
2人以上でお住まいの方に多く回答いただきました。

問 3. お住まいの地域を教えてください。



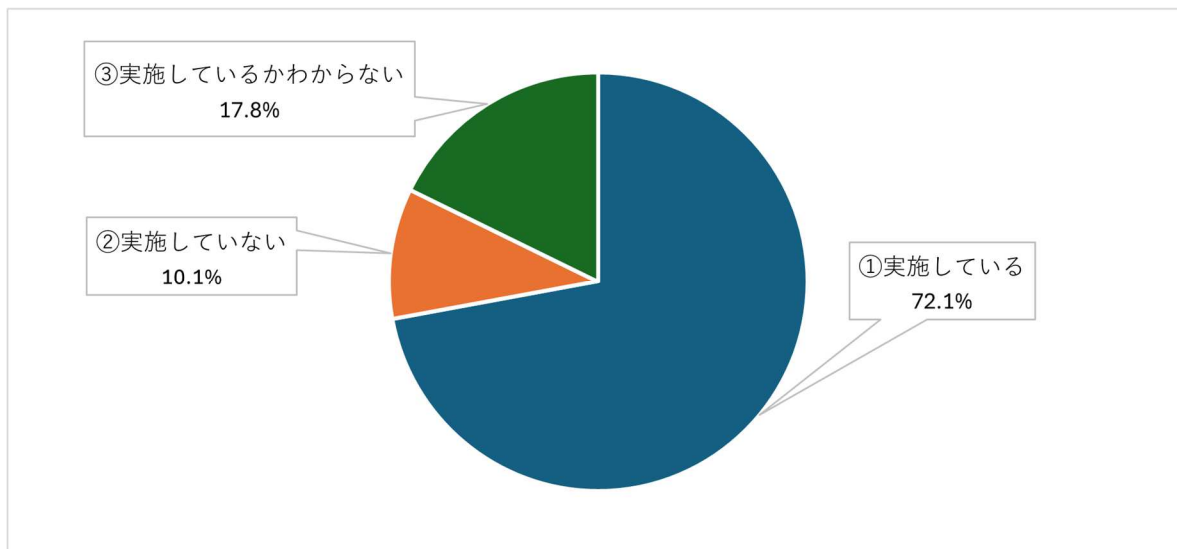
地域ごとの人口分布の割合と大きな差はなく、様々な地域からご回答いただきました。

問 4. あなたのお住まいは、次のうちどれにあたりますか？



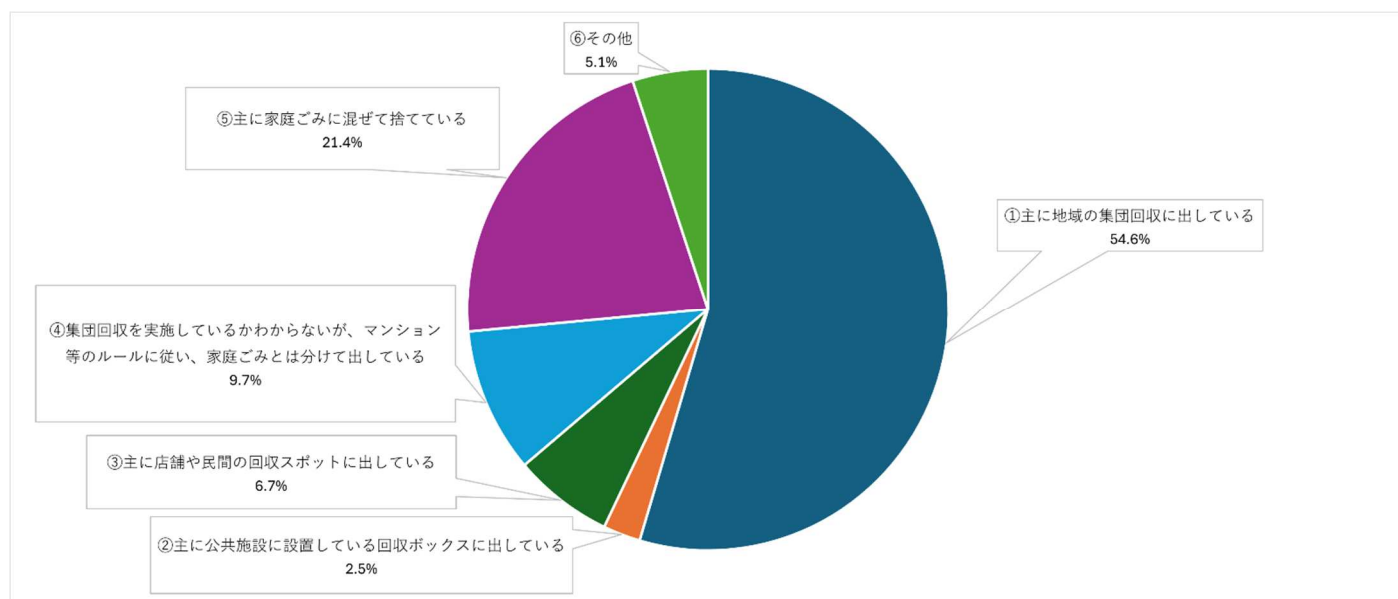
戸建てにお住まいの方から多くの回答をいただきました。

問 5. お住まいの地域やマンション等で古紙類(新聞・雑誌・段ボール等)の集団回収(子ども会・自治会などによる回収)は実施されていますか？



「①実施している」の回答が 7 割強、「③実施しているかわからない」の回答が 2 割弱ありました。

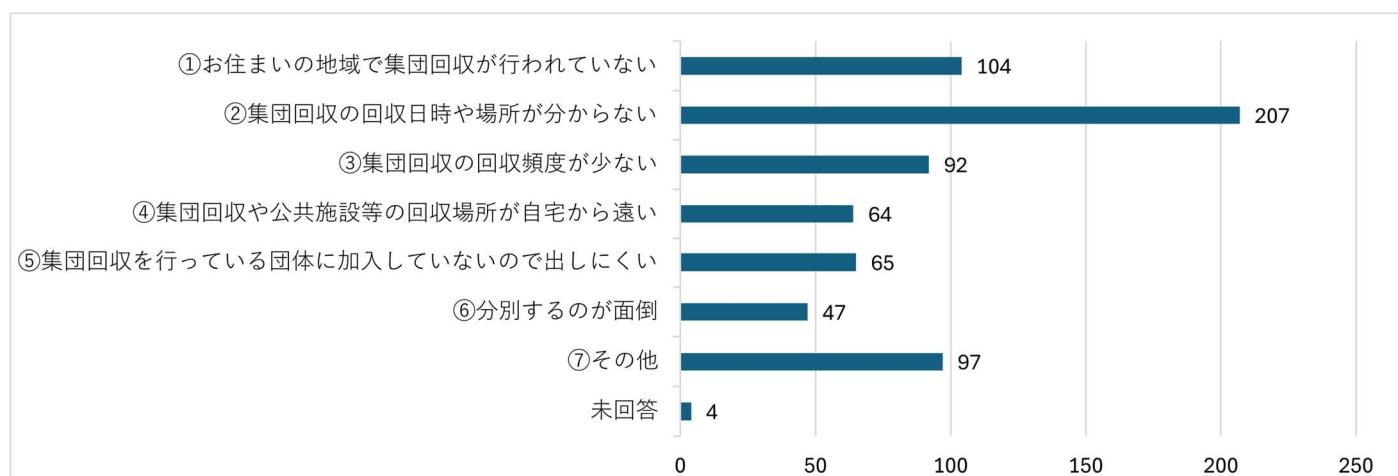
問 6. お住まいで古紙類を出す場合、どのように処理されていますか？次のうち最も近い選択肢を選んでください。



5 割半程度の方から「①主に地域の集団回収を利用している」と回答いただきました。民間の回収スポットや公共施設の回収ボックスを利用されている方、またお住まいのルールに従って出されている方を含め、全体の 7 割強の方が何らかの方法で分別に取り組まれていることがわかりましたが、一方で「⑤主に家庭ごみに混ぜて捨てている」と回答された方が 2 割強おられました。

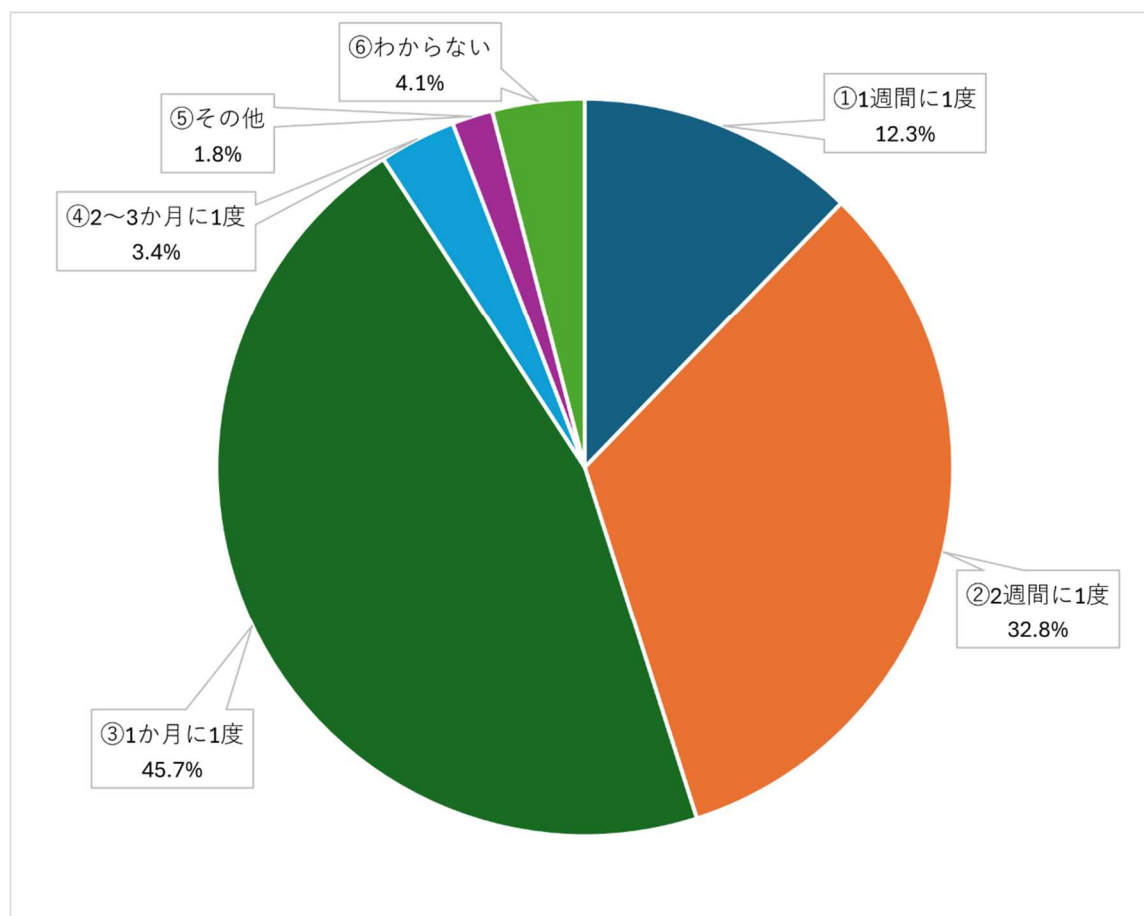
問 7. 問6で「⑤主に家庭ごみに混ぜて捨てている」と回答された方におたずねします。分別していない理由を教えてください。(複数回答可)

(n=444)



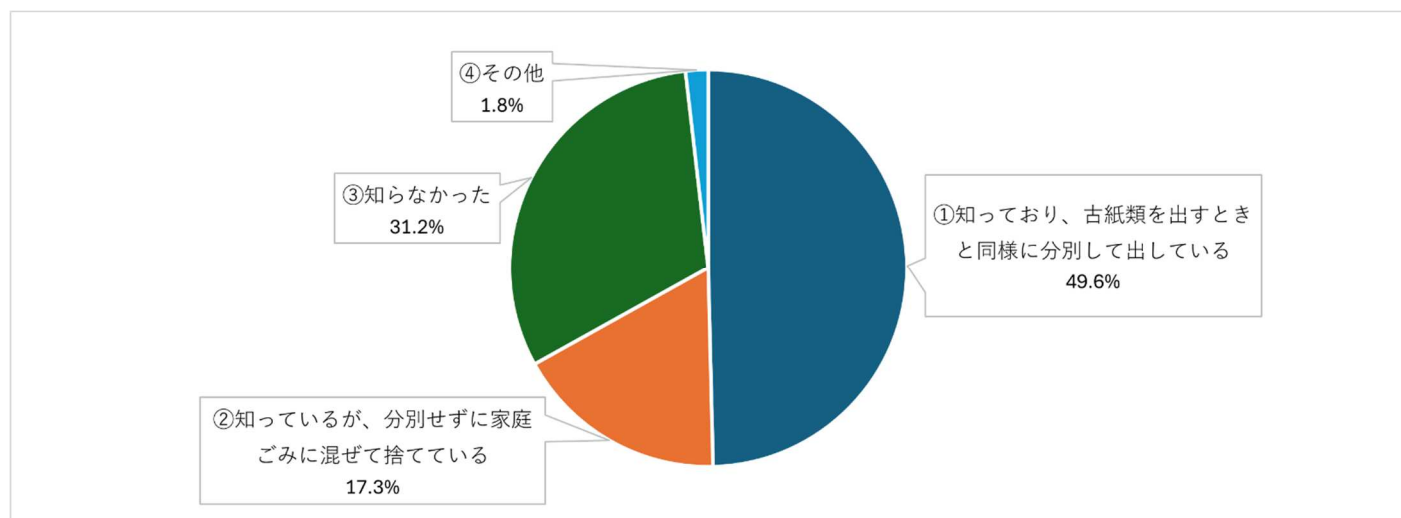
最も多かった回答は「②集団回収の日時や場所が分からない」、次いで「①集団回収が行われていない」、「③回収頻度が少ない」という回答が多くを占めました。活動の周知に関する課題が多く見られる結果となり、回収の場所や頻度など利便性を要因とする回答も多く見られました。

問 8. あなたにとって、古紙類の理想的な回収頻度は次のうちどれですか？



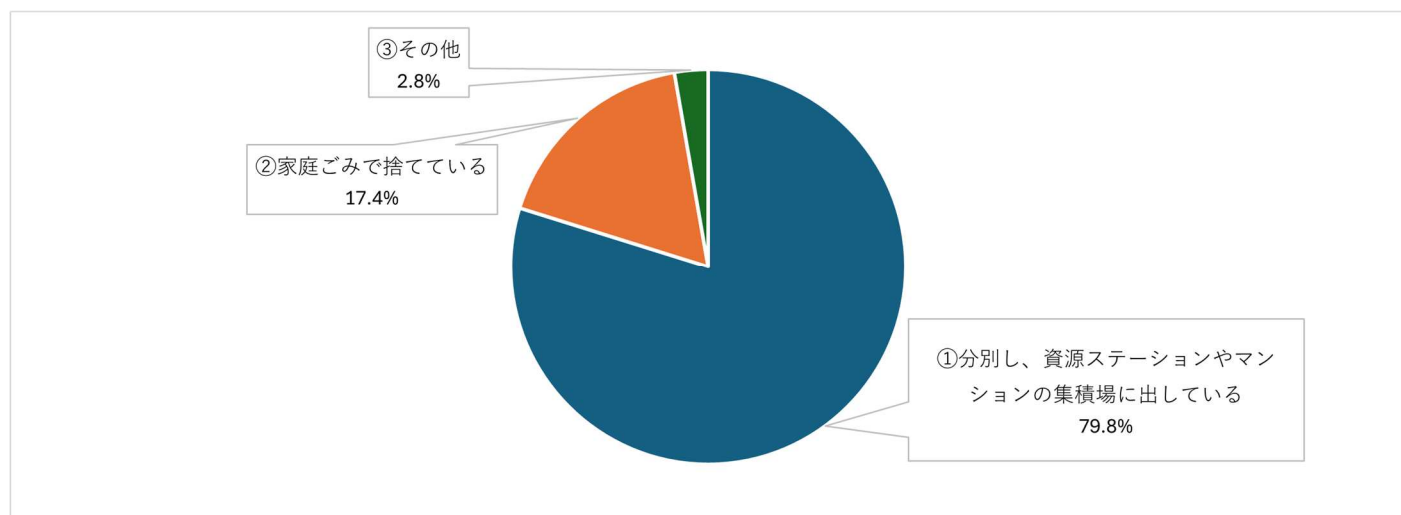
5割弱の方が「③1か月に1度」、3割強の方が「②2週間に1度」と回答いただきました。集団回収活動では多くの団体が月1回、又は2回の頻度で回収を実施されているため、団体としては多くの方が望まれる回収頻度を確保されているものの、回収されている状況の課題等も含め、古紙類を「出したいときに出せない」状況になっているものと思われます。

問 9. 古紙類のうち「雑がみ」についてお聞きします。「雑がみ」が新聞や段ボールなどと同様、古紙回収に出せることを知っていますか？ご存じの方は普段どのように処理されているかについてもお答えください。



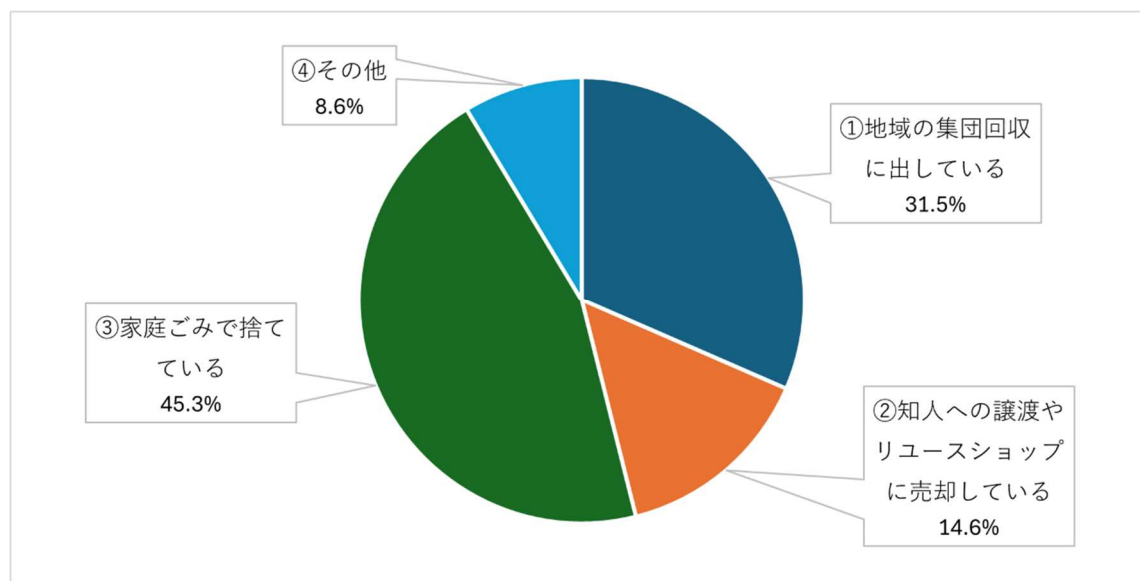
およそ半数の方が古紙類と同様に分別して出されている結果となりました。一方で、「②知っているが、分別せずに家庭ごみに混ぜて捨てている」方が 2 割弱おられたほか、「③知らなかった」方も 3 割強おられるなど、周知や啓発における課題が明らかとなりました。

問 10. 古紙類以外の資源物についてお聞きします。お住まいで出たプラスチック製容器包装はどのように処理されていますか？



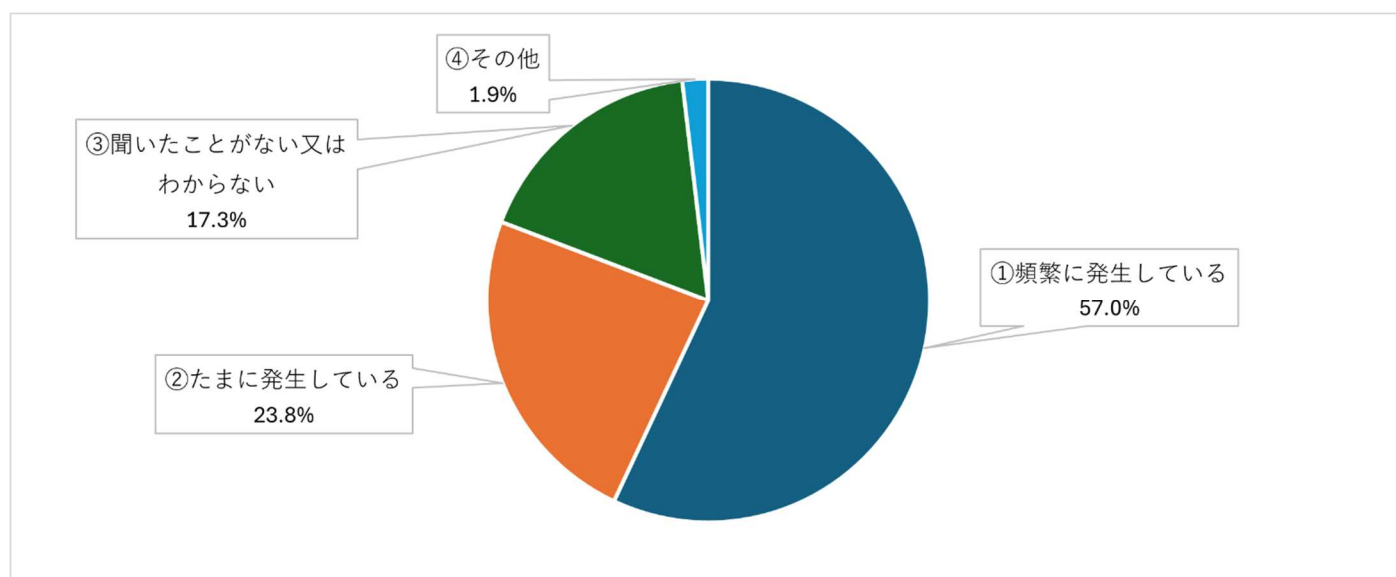
約 8 割の方が分別に協力いただけていますが、家庭ごみに混ぜて捨てている方も 2 割弱おられました。

問 11. お住まいで着なくなった衣類(古着・古布)はどのように処理されていますか？



集団回収への排出と譲渡・売却で 5 割弱、家庭ごみで捨てられている方も同様の割合での回答がありました。

問 12. お住まい周辺で缶類などをはじめとする資源物の「持ち去り」は発生していますか？また発生していると聞いたことはありますか？



「①頻繁に発生している」が 6 割弱、「②たまに発生している」が 2 割強と、全体で 8 割程度の結果となりました。多くの地域で持ち去りが発生している実態が明らかとなりました。

問 13. その他、資源物の回収についてご意見がありましたら、自由に記入してください。

※回答を一部抜粋して掲載しております。

- ・地域でやっているならチラシなどでお知らせしてくれると助かります。家の近くで出したいです。
- ・プラごみと雑紙の分別について市の広報などでも定期的に書いて欲しい。
- ・持ち去りは特にひどくて、複数の人が缶と不燃の小物の日は巡回しています。
- ・粗大ゴミも券を購入して貼っていてもたまに持って行かれるので もし可能であれば 再利用など使える物を必要な方々に譲れるような仕組みは出来ないでしょうか？
- ・缶等の持ち去りは、多少は、仕方ないと、思ってる！
- ・古着も紙も、できたら再利用したいけど、自治会の情報はもらえてないし、よくわからない。持ち込める場所が身近にあるなら持ち込みたい。特に古着は山ほどあるが、処分に困っている。
- ・子ども会が頑張ってくれてありがたい。回収業者にも感謝です。
- ・特にマンションだとマンションのルールに従ってるので不便はないです。
- ・プラスチック容器だけでなく、プラスチック製品も回収できるようにしてほしい。
- ・海外ドラマで町のあちこちに回収ボックスのような物があり毎日捨てられるようになっているのを見た事があります。実際に設置されているかわかりませんが、近くに毎日回収出来るボックスがあればためておく必要もなく便利かなと思います。
- ・身体が不自由な為、家の前でも回収して欲しい。
- ・子供会で回収しているが回収時間がはっきりしない(口コミで聞いて出している)。日時をはっきりゴミの日のように文章化して知らせてほしい。
- ・包装に関するプラスチックゴミの多さに驚く。魚や肉などの包装容器、菓子類の個別包装とトレーや外装袋など、もっと簡易に出来ないのだろうかと考えさせられる。
- ・現状で うまく 行っている。何年も続いているし役員・班長などが協力して行っている。
- ・小物家電や使用済み食用油を持って行ける場所を増やしてもらえればうれしいです。
- ・「雑がみ」など再利用が可能な紙類としてもっと知らせるべきです。当マンションでも段ボール、新聞、チラシは出されているが、紙袋、紙箱、トイレトペーパーの芯等は余り見かけないので、知らない人が殆どだと思います。
- ・電池類をもっと出しやすくして欲しい。
- ・八尾市のように、指定の色別ゴミ袋があれば出しやすいと思います。

- ・2週に1度の古紙回収時に古着も回収出来るとなっているが、回覧で自治会の会計報告を見ると古着での収入はゼロとなっている。なので古着が溜まっても気が引けて中々出せないでいる。
- ・回収後リサイクルされたおおよその量と環境改善の寄与度のような指標がもしあって、公開されれば、推進への市民の励みになるかもしれません。
- ・お菓子の箱やカタログなどの雑がみを回収してほしい。地域の子供会では雑がみの回収をしてくれないので、今は車でホームセンターに持っていっている。
- ・集団回収の回収日が雨だと中止になっているのが困る。月1回の回収だから翌月に持ち越したと置き場に困る。
- ・ペットボトルの夏季特別収集は、とてもありがたいです。
- ・今まで地域自治会など集団回収されていたがなくなってしまい家庭ゴミに段ボール、新聞と古着と混ぜて処分するようになってしまい困ってます。
- ・缶やペットボトル、段ボール、雑誌などは、ポイントが貰える回収場に持って行って捨ててます。ポイントが貰えると、どうせ捨てるならそこに持って行こうって気になりました。
- ・足腰が悪くひとり住まいなので集団回収場所まで運べない。
- ・月一回で良いので電池やバッテリーの回収があると助かります。
- ・東大阪市は、プラスチックは再生処理しているのか、燃料として燃やすのか知りたい。
- ・取りまとめしていただいている方々全員70代後半で次の世代で手伝ってもらえる人見当たらず。多分後10年でシステム崩壊。
- ・雑がみの古紙回収に良い方法あれば知りたい。古紙回収もサイズ違いの段ボールなどをうまく束ねる方法など知りたい。
- ・他の家で明らかに分別していないゴミをよく見かける。不公平感のようなモヤモヤしたものを感じる。こういった人々のせいで例えばゴミ有料化などになれば、たまったものではない。
- ・民間による資源物回収場が増えている様で、行政処理の負担が減り、かつルール徹底と不法投棄などが減る事になり良いと思う。但し、外国人向けの対応、対処が遅れている点は、早急に措置、対策を講じる必要があると感じています。
- ・資源物回収よりこんな意味のないアンケート止めるべき。アンケート結果きちんと公表すべき。
- ・自治会では雑紙の回収は認知されていませんが私は紙袋に入れて出していると回収してくれています。

※集計結果は、小数第 2 位を四捨五入しており、表記値と計算値との演算誤差が生じることがあるため、回答比率の合計が100%とならないことがあります。

※複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を越える場合があります。

※図中の(n=)は、有効回答数を示しています。